

会員情報



CAP・にいがたは1996年に発足し、今年で29年を迎えます。CAPはChild Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、子どもたちがいじめ、虐待、誘拐、性的いやがらせといったさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。幼稚園・保育園・こども園、小学校、中学校、特別支援学校、児童養護施設等でプログラムを届けています。子どもの人権が尊重され、一人ひとりの子どもが大切にされる社会を目指し、県内の子ども・おとな教職員合わせて約18万人にワークショップを届けることができました。現在34人のメンバーで活動をしています。小さい時からの人権教育が、相手を尊重し対等な人間関係を築くことに繋がっていくと考えています。

3/1 (土) 子どもへの性暴力、その後、そしてケア | 13:30 - 15:30 (受付開始13:20 -)

トラウマに焦点化した認知行動療法

ジャニーズの性加害問題以降、子どもへの性暴力防止についての理解が進んでいます。日本版DBS(子どもと接する仕事に就こうとする人に性犯罪歴がないことを証明する仕組み)の創設を含む子ども性暴力防止法案は2024年6月19日に可決・成立しました。性暴力の実態の深刻さを知り、そこからの回復を支援するためにできることを、最新の療法から学びましょう。

対象 | テーマに関心のある方、教育・医療・相談・福祉・保育に携わる方 など
定員 | 60名(先着順) 参加費 | 500円
会場 | 新潟ユニゾンプラザ2F 女性団体交流室2

申込・お問合せ NPO法人子ども・人権ネットCAP・にいがた 〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-18 025-265-1617 cap.n@violin.ocn.ne.jp HPIはこちら

ご案内

男女共同参画・女性関連のおすすめ図書をご紹介します!

新潟ユニゾンプラザ2階 図書情報ルームで貸し出しをしています。ぜひご覧ください!

おすすめ図書

- 女らしさは誰のため? ジェーン・スー、中野 信子 著 (2023年小学館発行)
おしゃべりから始める私たちのジェンダー入門 清田 隆之 著 (2023年朝日出版社発行)
いいね! ボタンを押す前に 治部れんげ、田中 東子、浜田 敬子 著 (2023年垂紀書房発行)

新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム

平日 | 9:30 - 16:00 土日祝 | 9:30 - 17:00
休館日 | 毎週月曜・年末年始・蔵書点検期間・ユニゾンプラザ休館日 など
貸出 | 図書 3冊 14日以内返却(延長有) DVDの貸出もあります!

編集・発行

公益財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階/新潟県女性センター



- 電話 025-285-6610
●fax 025-285-6630
●メール npwf@npwf.jp
●ホームページ https://npwf.jp
●Facebook 新潟県女性財団
●X (Twitter) @npwfniigata

【編集後記】

この冬はインフルエンザと新型コロナが同時流行しているそうです。事務局では感染者もなく平穏ですが、周辺ではマスクをする人が急増。なんとなく不安な日々になってきます。今年度も、様々な取り組みを行ってきましたが、セミナーなどの事業はまだ続きます。年度末まであと二か月、気を引き締めていこうと思います。(よみひとしらず)

男女が共に参画し 多様な生き方が選択できる社会をめざして



新潟県女性センター情報

No.140 2025.02

毎年発行の男女共同参画の啓発誌

ぶっくばらんす

3月発行

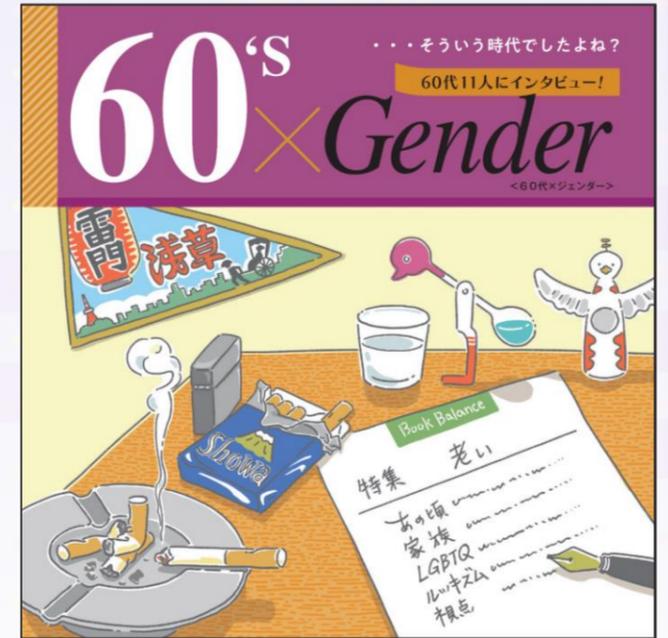
今回は、60代11人にインタビューして作成!!

そもそも...

「おとな世代の固定観念の影響で、私たち子どもが心身ともに成長する機会を失っているような気がする。」これは、高校生の言葉です。「どんな内容の啓発誌がいいと思う?」の問いかけに、「おとなが持つ決めつけや、思い込みを払拭できるような内容なら、世代間ギャップが埋まるような気がする」と続けて答えてくれました。この言葉がきっかけで、性差と世代や年齢による違いによって生まれるズレを埋める、いや考えるきっかけになればと想い、世代別に関心テーマで、インタビューして作成することになりました。

私たちの願いは...

「お互いが歩み寄る」「多面的に考える」「対話と尊重」の3つです。目の前にある同じモノ・コトを見ても、受け取り方や解釈は性差、世代間で違いがあると思います。その違いをそのまま、それぞれの「当たり前」にするのではなく、「へ〜。どこからそう思ったの?」と問いかけることで、新しい価値の創造、やり方が生み出されることを願っています。



主な内容

- ▶ こんな時代に働いていました
▶ LGBTQ...身近にいないから、わかりません
▶ 「ルッキズム」を知っていますか?
▶ あなたにとって「若い」とは
▶ 視点「なんで昔に戻れましょう」 上野千鶴子 (社会学者・東京大学名誉教授)

関連冊子のご紹介

ぶっくばらんす6号 20代×ジェンダー



◆7号含め、配布ご希望の方は、当財団までお問合せください。
◆これまで発行した「ぶっくばらんす」1~6号は、財団のHPにてご紹介しています。併せてご覧ください。 詳細はこちら

こちらも注目!!

ぶっくばらんす 特別号 ねえ、どんないろがすき?

子どもと男女共同参画をテーマに発行してきた「ぶっくばらんす1~5号」を合体させ、特別号を作成しました。

- 1号 | ねえ、どんないろがすき? 女の子だから、ピンクが好きなの?
2号 | だって、おとこだから? 男らしさってなに?
3号 | やっぱり かわいくなきゃダメ? 自分らしくって何だろう?



1冊800円のところが...

今ならなんと送料込みで... 600円

とってもお得だペロ!

※3月31日までの期間限定となりますので、ご了承ください。

- 4号 | 思春期男子のモヤモヤする日常 「大事だけど...」 「知りたいけど...」
5号 | 色めがねをはずして 性別にとらわれることなく、ワタシらしく生きる

「ハイヒールを履いたお坊さんと一緒に考える人がそれぞれの色で輝くためのヒント」
にいがた女と男フェスティバル講演会 2024

6月

6月23日の基調講演では、メイクアップアーティストであり、浄土宗の僧侶である西村宏堂さんを講師にお迎えし、講演会を開催しました。
LGBTQ活動家の西村さんの講演内容は、自身の幼少時代、海外留学から、今現在までの生い立ちや経験談をおして、理不尽に思ったことや変わるきっかけなど、「自分らしく輝き、生きるために必要なこと」とは何か。また、そうある為にはどうしたら良いのか…などをお話いただき、ジェンダーや人権について、改めて考えるきっかけを提供することができました。



また、講演会は県内・県外問わず、参加が可能なオンラインと同時開催。ほか、新潟会場以外でも、11市によるサテライト会場での開催も行われ、性別・年齢に関係なく、444人の方からご参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

令和6年度 ユニゾンプラザパープル・ライトアップ 収支報告書

1. 収入の部	
パープル・ライトアップ募金	78,761 円
新潟県女性財団支出金	17,661 円
2. 支出の部	
LED照明機材借り上げ料	89,760 円
パープル・リボン制作費	4,210 円
チラシ等印刷・郵送費	2,452 円
合計	96,422 円

11月

ユニゾンプラザパープル・ライトアップ

今年も11月9日～15日の期間に、新潟ユニゾンプラザをパープルでライトアップしました。
ご協力いただきました団体・企業様およびご支援いただきました県民の皆さまには、改めて厚く御礼申し上げます。
また、(公社)にいがた被害者支援センターと共に、同設営会場内で運動促進の展示活動を行ったほか、11月8日には関連セミナーを開催し、サテライト会場含め86名の方からご参加いただきました。
財団では引き続き、女性に対するあらゆる暴力の根絶を目指し運動を続けていきます。



& 特設展示・関連セミナー開催

(公益)新潟県女性財団

2024年度 事業を振り返る

令和6年度、女性財団では、新潟の女性がやりがいを持って働きやすい職場環境の整備や、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)の解消などを目指し、女性管理職・候補者等のスキルアップに加え、経営トップ層に向けて女性活躍の重要性を訴えるセミナーなどを行いました。
また、県は「パートナーシップ制度」を創設。女性財団や自治体でもLGBTQの方の講演を行うなど、女性財団の目標である「だれもが暮らしやすい社会の実現」に向けて取り組んだ1年になりました。

にいがた女と男フェスティバル2025 講演会 開催決定!!

今年も「にいがた女と男フェスティバル2025 講演会」のほか、関連セミナーなど盛り沢山!! 詳細は決まり次第、お知らせいたします。



7-11月

出張講座
理事長

今年度は、清心女子中等・高等学校と上越商工会議所からのご依頼を受け、講座を開催。
清心女子では全校生徒や職員を対象に講演を行い、「ジェンダー平等」の基本に加えて、「女性の社会進出」への実現に向けた課題提示と取り組み改善等を説明。質疑応答では、生徒から「高い世代に多く感じる男女格差の意識啓発についての質問が挙がりました。



上越商工会議所では、20～60代の中間管理職の女性へ向け、管理職として自分らしく活躍するために必要な意識や考え方を学び、女性が活躍するためのモチベーションアップへの秘訣や仕方などの講演を行いました。



今年度新潟県の委託により「選ばれる企業×女性活躍推進事業」として、下記のセミナー等を開催しました。

新潟県では若い世代、特に女性の県外流出が課題となっています。まず、就職期の大学生を対象に「どのような職場環境で働きたいか」などWEBアンケートを実施、400を超える回答が得られました。



回答を深掘りするために、新潟・長岡2会場で、大学生を対象とした意見交換会も実施し、大学生から率直な意見を頂きました。

企業向けの「企業トップセミナー」には、会場・オンラインから約150人のご参加がありました。基調講演では、データから人口減少の実情と雇用についてお話をいただき、「腑に落ちる内容だった。またぜひ拝聴したい」などの感想がありました。



8-12月

女性活躍推進事業 (新潟県委託事業) 選ばれる企業 ×

労務担当者等を対象とした企業間情報交換会では、先進企業の事例紹介とワークショップで、自社の取り組み等について情報交換を行いました。現在は、「専門家によるダイバーシティを進める出前講座」の企業を募集中です。女性活躍、働き方改革などを進めたい方は、従業員研修にご活用ください。

8～11月にかけて、県内3会場で若手女性従業員を対象とした「働く女性のキャリアデザイン応援セミナー」を開催。「管理職に対して自分は関係ないと思っていたが、自分事として考えられるようになった」と前向きな感想が複数寄せられました。

